

夢・未来 市長と語る
5年後の大人たちとまちづくり談義



池田 達さん



竹腰 和馬さん



岩本 萌さん

悲しいので、若い人がもどつてきたいと思えるまちづくりを進めてください。

市長 確かにまちから人が少なくなっていくことは寂しいことです。私の住む町内も130世帯から80世帯に減っています。高齢化率も非常に高く、小学校に通っている子どもが1人という状況で、活気もなくなってきました。元気な高山市にするためにみなさんと一緒に頑張ります。

竹腰 学生が学びやすい環境づくりをお願いします。例えば、清見町の二本木地区から高校へ通学するのに交通費が片道1200円ほどかかり大きい負担となっています。また、のらマイカーのルートも再検討する必要があると思います。

市長 大学に進学する人にも奨学金として補助する制度をつくらうと思っています。もちろん今のバスの話もできるだけ負担が小さくなるよう取り組んでいきますが、すぐにはできないので、もう少し時間をください。

池田 高根地域にある高地トレーニング施設はせっかくの素晴らしい施設なのに、遠くて使いにくいので、有効活用できる方策も考えほしいと思います。

市長 高山には高地トレーニング施設だけでなく、丹生川の五色ヶ原の森のほか、上宝地域へ行けば京都大学の天文台があったり、清見地域のプラネタリウムなど、素晴らしい施設がいろいろあります。みなさんで情報を持ち寄って話し合うのも楽しいことだと思います。ぜひ体験してみてください。

—他にどうでしょうか。

南波 学校と地域の絆が深まる活動も大切だと思っています。私たちは普段地域のみなさんに「見守り隊」などでサポートしてもらっていますが、学校や生徒はどうでしょうか。地域との関わりを持つ活動をしていきたいと思っています。

税金は有効活用 無駄遣いはやめて

橋本 市長さんから今回いろいろな事業を進める話がありました。それには当然お金も必要になります。無駄使いのないよう税金を有効に使っていただきたいですし、負担も抑えてほしいと思います。

市長 その通りです。みなさんテレビなどでご覧になったことがあるかもしれませんが、高山市でも「事業仕分け」を行いたいと思っています。仕分けでは、市民のみなさんに集まってもらい、事業の効

果があるのかを調べて、無駄遣いを減らしたいと考えています。

不断の努力が

「明日の高山」を良くする

橋本 市長さんが私たち中学生に期待することはどんなことですか。

市長 今日より明日という気持ちを持ち続けてください。ただ漠然と願ったり、思うだけでなく、断の努力をしていただくことが大切で、そのことがみなさんを大きく育てていくと思いますし、明日の高山を良くしていく原点だと思います。二つ目には、思ったことは、心に閉じ込めず責任をもって話すことが大事です。それがなんでもわかりあえるような人間関係をつくりたいです。これからの人生、大いに羽ばたいてください。

—9月22日 市役所市長室

